

ドクターからの健康アドバイス

お子さんの麻酔は安全です



麻酔科
お夫
みつかず
ふく福

もし万が一、身内の人が手術を受けることになれば強い不安を感じてしまうものです。麻酔に関しては「麻酔の薬で眠るだけ。」と思っている人がいる一方で、「全身麻酔が一番こわい。」と感じる人もいます。部分的な知識のために、漠然とした不安を抱えている方が多いと思われます。

実は全身麻酔は医療の中でも特別です。手術中は無意識に体が動いてしまわないよう、全身麻酔中は呼吸も止まるほどの状態になっています。数分間の事故でも大きな影響をきたすため、麻酔の安全技術は医療の中でも最も早くから進歩していて、呼吸状態などが嚴重に監視されています。全身麻酔の安全性は数十年前に比べて飛躍的に高くなっています。

それでも、小さなお子さんや赤ちゃんへの影響についての心配は残ります。脳の発達期には全身麻酔薬が悪影響を残す可能性が動物実験で知られています。一方で、強い痛み刺激やストレスも脳機能に影響があり、全身麻酔薬を使用すれば影響を少なくなること知られています。また、手術を受ける時にお子さんが強い不安を感じると、手術後しばらく摂食障害や対人恐怖、夜間遺尿などの情緒障害反応を残すことが知られています。鎮静薬などで不安を少なくしてあげると障害を減らすことができます。

つまり、手術を受ける時の苦痛や不安を取り除くことで麻酔は人体により良い効果を期待できるのです。親御さんの不安はお子さんに伝わってしまうものです。「お子さんの麻酔は安全です。」と言うことを信じて、不安をいだき過ぎないようにされるほうが良いと思います。

手術中の患者さんの安全を守っています。

